

# 修正版

## 「これってどういう意味？—天気予報の日本語」【台本】(1人Ver.)

収録日: 2025/●/● 収録場所: ●●

公開日: 2025/●/●

パーソナリティ: ○○先生(拠点:)

### ✓ 想定するリスナー層: 日本語学習者・生活者

- リスナーの疑問 : これって、どういう意味？
- ラジオ番組の効果①: リスナーの日常の疑問が解決
- ラジオ番組の効果②: 日本語のリスニング能力の向上
- リスナーのメリット: 日本での生活がより快適になる

### ✓ 本番組の構成

- オープニング: 番組紹介 & BGM(1分)
- 本日のテーマ: 「日本の天気ってどんな感じ？」(●分)
- メイン: 「天気予報の日本語」(●分)
- エンディング: 出演の感謝 & 締め言葉(1分)

【盛り込むワード】天気の日本語(ところにより雨、くもりのち雨、くもり時々雨 等)

以下、本番組のタイムテーブルです。

### ✓ 本番組のタイムテーブル

TIME	FLOW(全体の尺: ●分)
00:00	<ul style="list-style-type: none"><li>■ オープニング: 番組紹介 &amp; BGM(1分)</li><li>□ 番組紹介 ※イントロは毎回同じことを言う。</li></ul> <p>M: みなさん、こんにちは！お元気ですか。</p> <p>今日から新シリーズ「これって、どういう意味？」が始まりました。</p>

この番組ではテキストには書いていない、レッスンでは出てこない、でもネイティブが毎日普通に使っている日本語をシーン別、トピック別にお届けします。

### ・本日のテーマ：日本の天気ってどんな感じ？（●分）

M： 皆さんは日本の一年間の四つの季節を知っていますか？ ←必ず質問から入る

日本には春（spring）・夏（summer）・秋（autumn）・冬（winter）の4つの季節（four season）があります。

春はだいたい3月から5月、夏はだいたい6月から8月、秋はだいたい9月から11月、冬はだいたい12月から2月です。春は暖かくて、夏は暑くて、秋は涼しくて、冬は寒い。これが日本の一年です。日本は縦に長いですから、場所によって季節の長さや気温（Temperature）が違いますが、どの場所でも一年間の気温の差はとても大きいです。そして天気（weather）も季節によって違います。台風も毎年いくつも日本に来て、飛行機や電車が止まることも何回もあります。このように天気や気温が毎日変わりますから、私たち日本人は着るものや持ち物の準備のため、他には農業や漁業やお店の商品のラインナップなど、いろいろな仕事をするために誰でも必ず、天気予報（Weather forecast）のチェックをします。

毎日を安全に快適に過ごすために、天気予報はなくてはならないものなんです。スモールトークで天気のことを話すのも、日本人みんなの共通のトピックだからなんです。

毎日の天気予報には、天気を表現する言葉がたくさんあります。

今日は「天気予報の日本語」を紹介します。

### ・メイン：天気予報の日本語（●分）

M： では、早速「これって、どういう意味？—天気予報の日本語」をいくつか紹介します。

まずは天気のことばです。

- ・晴れ（はれ）—fine / sunny
- ・曇り（くもり）— cloudy
- ・雨（あめ）— rainy
- ・雪（ゆき）— snowy
- ・霧（きり）— foggy
- ・風が強い（かぜがつよい）— windy

です。

では次です。

—皆さん、ちょっと想像してみてください。（←これは毎回の決めゼリフ）

朝です。いつものように起きました。テレビをつけます。ニュースで天気予報をやっています。キャスターがこう言っています。

「は、晴れのち雨でしょう。」

さあ、これはどんな天気なのでしょう。

晴れはsunny、雨はrainyですね。では「のち」は？

—これはand (later)という意味です。

ですから、「晴れのち雨」は「sunny, and later rainy」となります。

これを聞くと、私たち日本人は「傘」や「折り畳み傘 (Folding umbrella)」を持って出かけます。

他にも

「雨のち晴れ (rainy, and later sunny) 」

「曇りのち晴れ (cloudy, and later sunny) 」

「晴れのち曇り (sunny, and later cloudy) 」

など色々な天気を言うことができます。

では次です。

天気予報でキャスターがこう言っています。

「は、曇り時々晴れでしょう。」

さあ、これはどんな天気なのでしょう。

曇りはcloudy、晴れはsunnyですね。では「時々」は？

—これは“occasionally”や“sometimes”という意味です。

ですから、「曇り時々晴れ」は“cloudy and occasionally sunny”や“cloudy and sometimes sunny”となります。

では次です。

天気予報でキャスターがこう言っています。

「今日の最高気温は23度、最低気温は18度でしょう。」

さあ、これはどういう意味なのでしょう。

「最高気温」は“maximum temperature”、

「最低気温」は“minimum temperature” のことです。

そして「度」は温度 (temperature) のことで、日本では温度は“Celsius” (摂氏) で言います。

では次です。

天気予報でキャスターがこう言っています。

「今日の降水確率は40%でしょう。」

さあ、これはどういう意味なのでしょう。

「」は「雨が降る可能性 (possibility) が、どのくらいあるか」という意味です。

そして「今日の降水確率40%」というのは、「今日と同じ気象条件 (Weather conditions) だった過去のデータを調べたら、100日のうち40日は雨が降った。」という意味です。

降水確率50%以上だと雨は必ず降ると言われていますから、この数字の日は傘を持っていると安心です。

ここまで紹介した天気予報のことばでもう一つ、「~でしょう」ということばについて紹介します。これは英語の“probably” のことです。

天気はどんどん変わりますから、本当にどうなるか誰にも分かりません。ですから、天気予報ではこのことば「~でしょう」を使って言うんです。

#### ■エンディングトーク：本日のまとめ& 締め言葉 (1分)

今日ご紹介したフレーズはいかがでしたでしょうか。

日本には四季 (フォーシーズン) がありますし、場所によって天気が全然違いますから、この先日本で滞在や生活をするときは毎日天気予報をチェックすると、デイリーライフや旅行を安全で快適に過ごせます。そして天気を使って上手にビジネスをすることもできます。

天気予報を見る時は、今日紹介したことばを思い出してください。

そして日本の気候や天気と上手く付き合ってくださいね！

では最後に今日のフレーズをもう一度。(←最後に必ず復習タイム)

「今日は雨のち晴れでしょう。」、「今日は、曇り時々晴れでしょう。」、「今日の降水確率は40%でしょう。」

M: 最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。(←必ずお礼と締めを入れる)

この番組を聞いて「生活の日本語」「生きた日本語」をたくさん覚えて、ぜひ実際に使ってみてください。

それでは、次回もどうぞお楽しみに！また聞いてくださいね！さようなら～。

### 【参考資料】

#### 《用語集》

- ・未明: 午前0時から午前3時頃まで
- ・明け方: 午前3時頃から午前6時頃まで
- ・朝: 午前6時頃から午前9時頃まで
- ・昼前: 午前9時頃から12時頃まで
- ・昼過ぎ: 12時頃から15時頃まで
- ・夕方: 15時頃から18時頃まで
- ・夜のはじめ頃: 18時頃から21時頃まで
- ・夜遅く: 21時頃から24時頃まで
- ・日中: 午前9時頃から18時頃まで

・『一時(いちじ)』: 現象が連続的に起こり、その現象の発現期間の合計時間が予報期間の1/2未満のとき。 ※「連続的」……現象の切れ間がおよそ1時間未満。

※「連続的」……現象の切れ間がおよそ1時間未満。

・『時々(ときどき)』: 現象が断続的に起こり、その現象の発現期間の合計時間が予報期間の1/2未満のとき。 ※「断続的」……現象の切れ間がおよそ1時間以上。

\*\*\*『一時』と『時々』の違いは雨の量や強さではなく、雨の降っている時間。\*\*\*

・『後(のち)』: 前半の天気から後半の天気へと変化する

・『所(ところ)により』: 予報の対象地域のどこかでその現象が起こること。

例)「くもり所により雨」: 「くもりだが、雨の降る所も一部ある」という意味。

局地的な雨で、雨の降る地域が狭いor複数のまばらな地域で雨が降るときに使われる表現。

・『次第に』: ある現象が(順を追って)だんだんと変わるときに用いる。

#### 1日の時間を表す言葉

